東北中央自動車道利活用のための具体的な情報発信のアイディアについて



山形河川国道事務所

0. 目次

- (1)東北・関東地区における東北中央自動車道の認知度調査(第2回)の結果
 - 1)認知度調査概要
 - 2) 東北中央自動車道の認知度結果
 - 3) 東北中央自動車道の認知度結果(開通を知った理由)
 - 4)まとめ
- (2)具体的な情報発信のアイディア
 - 1)目的など
 - 2)山形の魅力と東北中央道のイメージ戦略について
 - 3) 具体的な情報発信のアイディア

1-1). 認知度調査概要

(1)調査目的

前回実施した東北中央自動車道の認知度に対し、各関係機関が認知向上に向け取り組んだ効果の検証を目的に、東北中央自動車道への認知状況について現状把握を行うことを目的とし実施したもの。

(2)調査概要

- 1)ネット調査(第2回目)
 - ①調査実施対象 以下の地域に居住している方を対象とした。
 - •東北地方(青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県)•新潟県
 - •関東地方(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)
 - ②調査実施方法

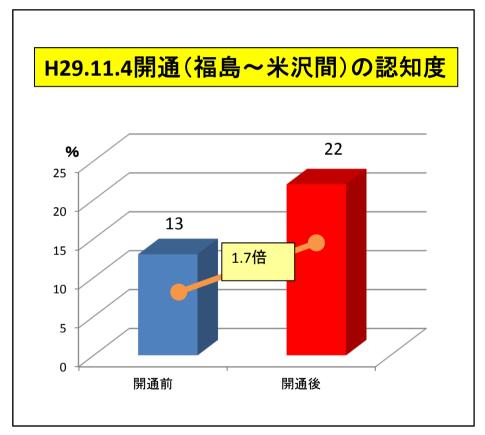
実施期間:2018年1月

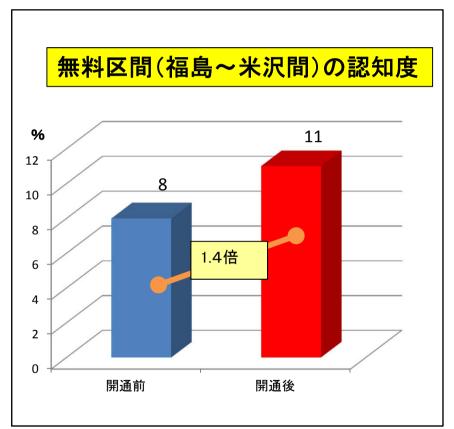
回収総数:500件

注)調査概要及び調査実施方法は、東北中央自動車道に関する認知状況についいて前回調査 (第1回目)との比較が出来るように設置している。

1-2). 東北中央自動車道の認知度結果

- ○開通の認知度は、開通前の1.7倍の22%である。(前回調査より9ポイント向上)
- ○無料区間の認知度は、開通前の1.4倍の11%である。(前回調査より3ポイント向上)



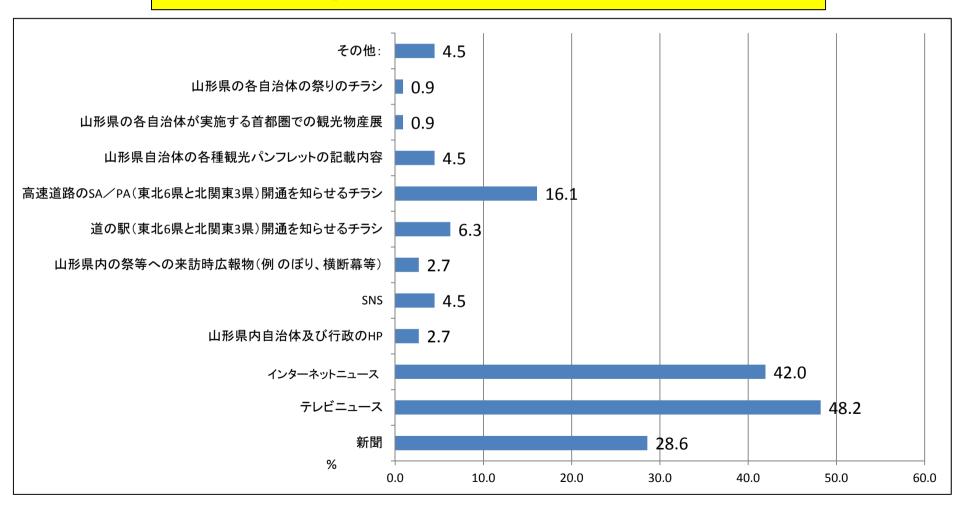


開通前:H29.1月調查 開通後:H30.1月調查

1-3) 東北中央自動車道の認知度

○開通を知った理由としては、「テレビニュース」が一番高く48.2%、次いで「インターネットニュース」42.0%、「新聞」28.6%、「高速道路SA/PAの開通チラシ」16.1%となった。

H29.11.4福島~米沢間の開通を何で知ったか?



1-4). まとめ

- ●東北中央自動車道(福島〜米沢間)の開通及び無料通行に関する認知度は前回調査時より 認知されているもののまだまだ低い状況、今後も利活用促進に向け関係機関連携のもと、 積極的な情報発信の継続が必要である。
- ●開通を知った経路は「テレビニュース」「インターネットニュース」が高く、メディアを 積極的に活用することで、より多くの方々に知って頂く機会となる。 今後の開通に向けては、山形県内はむろん首都圏で放映してもらうための工夫や戦略など も必要と考えられる。
- ●また、高速道路のSA/PAの開通チラシの効果が、他のチラシによる広報より高い結果となっている。福島〜米沢間開通時の広報チラシは東北道の休憩施設(SA/PA)のみの広報となっていたことから、その他高速道路(北関東道、常磐道、磐越道、関越道)を含め情報発信を行うことで、更なる認知の向上や山形県への来訪の機会を増やすことが期待できる。

2-1). 具体的な情報発信のアイディア

(1)目的

東北中央自動車道の認知度調査結果からも、今後ますます東北中央道の認知度を向上し、より多くの方々に利活用頂くため、積極的な情報発信が必要であると考える。

このことから、東北中央自動車道利活用による具体的な情報発信のアイディアについて提案するものである。

(2)山形の魅力と東北中央道を関連させたイメージ戦略について

東北中央自動車道を利用し自家用車で山形県内に来訪してもらうため、<u>山形県の魅力である「食、温泉、スキー場」などと東北中央道を関連させたイメージ戦略「キャッチコピー」</u>を利用しながら、各自治体等の観光物産協会などと連携した情報発信を行う。

(3)具体的な情報発信のアイディアについて

首都圏等に対する具体的な情報発信のアイディアの提案として、 『山形県』VS『〇〇県』といった山形県と同様の魅力を持つ地域への来訪者に対し、積極的な情報発信などを行い、来訪してもらうためのアイディアの提案。

2-2). 山形の魅力と東北中央道のイメージ戦略について

イメージ戦略「キャッチコピー」

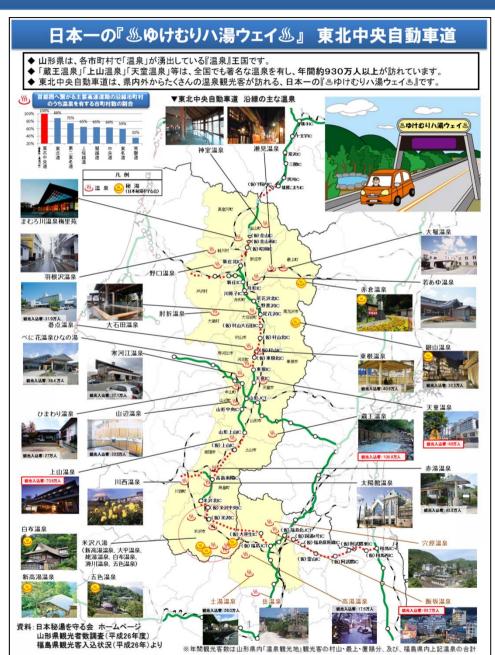
Ver.1【日本一の『ゆけむりハ湯ウェイ』』】

Ver.2【日本一の『フルーツハイウェイ』】

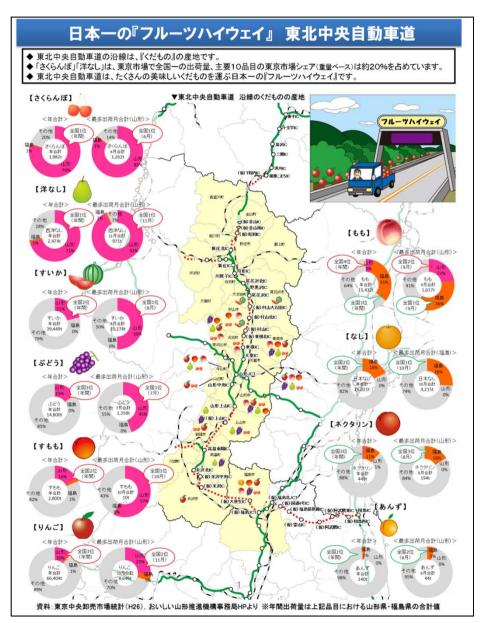
Ver.3【日本一の『フレッシュファームロード』】

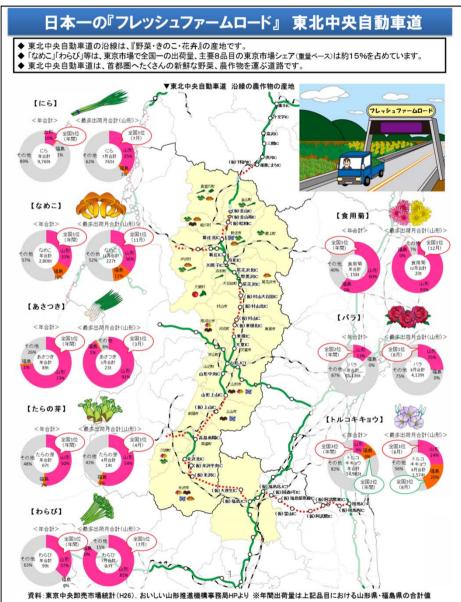
Ver.4【日本一の『そば街道』】

Ver.5【東北中央道でスキー場巡り】



2-2). 山形の魅力と東北中央道のイメージ戦略について





2-2). 山形の魅力と東北中央道のイメージ戦略について



2-3). 具体的な情報発信のアイディアについて

■『山形県』vs『〇〇県』について

首都圏から近い「長野県」・「山梨県」は、南関東地域の居住者が観光目的で乗用車で訪れる来訪先の上位であったり、山形の魅力のひとつである果物狩りでも、人気のエリアランキングの上位に位置している。

このことから、『山形県』VS『長野県』『山梨県』として首都圏居住者に向けた情報発信のアイディアを提案する。

く豊かな自然>

蔵王

●南関東の人が『観光』で訪れる関東以外の行き先 (出典:全国幹線旅客純流動調査(2010年)国交省) (南関東:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)

順位	都道府県	旅行者(人/日)	
1位	静岡県	78,200	
2位	山梨県	50,700	
3位	長野県	25,100	
4位	福島県	11,300	
5位	新潟県	9,000	
6位	愛知県	6,100	
7位	宮城県	2,600	
8位	山形県	2,500	
9位	岐阜県	1,500	
10位	三重県	1,400	

※交通機関:乗用車等 ※旅行目的:観光、

※秋期休日一日の旅行者数

●秋の果物狩り旅行が人気のエリアランキング

(出典:楽天トラベルHP 2017年、2016年)

2017年		2016年	
順位	都道府県	順位	都道府県
1位	山梨県	1位	山梨県
2位	福島県	2位	石川県
3位	北海道	3位	福島県
4位	長野県	4位	群馬県
5位	石川県	5位	三重県
6位		6位	長野県



<名物料理>

冷やしラーメン

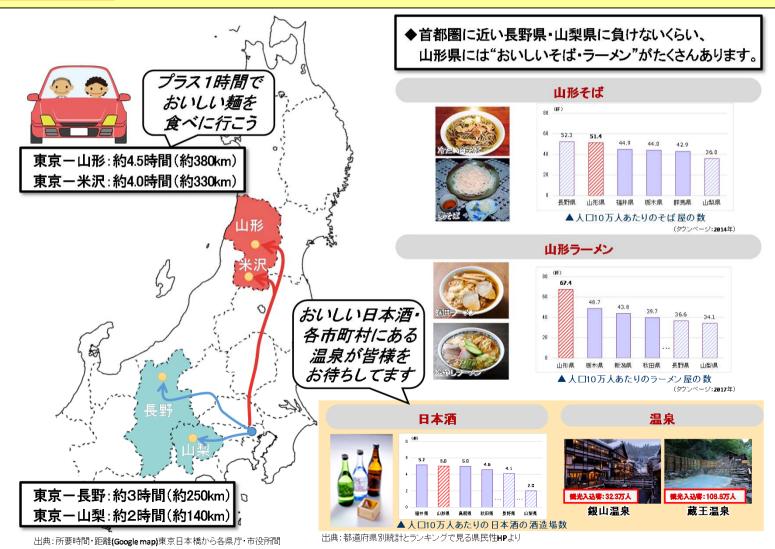
く豊富な農産物>

さくらんぼ

2-3). 具体的な情報発信のアイディアについて

■長野県・山梨県へ来訪する首都圏居住者への『山形の魅力売り込み作戦』

山形の魅力である「そば、温泉、果物」などは、首都圏居住者にとって同様な魅力を持ち首都圏に近い「長野県」「山梨県」に目が向く。「長野・山梨」へ観光に出かける首都圏居住者に対し、ターゲットを絞って山形の魅力を積極的に売り込み、効果的な観光誘客を行う。



2-3) 具体的な情報発信のアイディアについて

■長野県・山梨県へ来訪する首都圏居住者への『山形の魅力売り込み作戦』

山形の魅力である「そば、温泉、果物」などは、首都圏居住者にとって同様な魅力を持ち首都圏に近い「長野県」「山 梨県」に目が向く。「長野・山梨」へ観光に出かける首都圏居住者に対し、ターゲットを絞って山形の魅力を積極的に売 り込み、効果的な観光誘客を行う。

